

【お知らせ】

SpiderPlus & Co.

2023年8月3日

スパイダープラス株式会社

代表取締役社長 伊藤謙自

(東証グロース：4192)

業務提携先のL is B社とChatGPTを組み込んだサービスの共同開発に着手

建設DXサービス「SPIDERPLUS」を提供するスパイダープラス株式会社は、現場向けビジネスチャット「direct」を提供する株式会社L is B（本社：東京都千代田区、代表取締役社長CEO：横井太輔、以下「L is B社」）と、ChatGPTを組み込んだサービスの共同開発に着手したことをお知らせいたします。

当社はL is B社と2019年からSPIDERPLUSとビジネスチャットdirectとの連携を通じた業務提携をしており、SPIDERPLUSの更新情報をdirectに通知する等、部分的な連携機能をリリースしておりました。

建設業界では2024年4月に迫る残業規制対応をはじめとした建設現場の生産性向上が喫緊の課題であり、現場管理におけるコミュニケーション効率の向上が重要な解決手段の一つとなっております。これらに対応するため、両社のさらなる関係の強化とともに、コミュニケーション機能に特化した現場向けソリューションの共同開発が必要と判断しました。

SPIDERPLUSとビジネスチャット機能の連携強化にChatGPTを組み合わせることで、SPIDERPLUSに蓄積された現場情報を効率的にコミュニケーションに活用することや、現場の状況やChatGPTからの提案を加えながらdirect上で情報活用することを目指します。

なお、本提携が今期の業績に与える影響は軽微となる見通しですが、中長期的には当社の業績及び企業価値の向上に資するものと考えております。

AI 活用サービスの共同開発着手



SPIDERPLUS



AI 活用



direct **ダイレクト**



効率的な
コミュニケーション



作業の品質改善
業務の生産性向上



不具合の傾向把握
再発予防策

1. 期待する効果

SPIDERPLUSに蓄積された膨大なデータをChatGPTなどの生成AI活用によって処理し、提示された結果をdirectのテキストコミュニケーションで共有します。

SPIDERPLUSには、日々膨大な量の写真や検査結果等のデータが蓄積されていますが、その分析には多くの時間と労力が必要であることから十分な活用ができていませんでした。

この、従来手の回らなかったデータ分析や処理を生成AIが行なうことで、現場従事者が労力を割かずに、現場作業の品質改善や業務の効率化を目的としたデータ活用が可能になると期待できます。

2. 検討中の活用例

現場の施工効率化から全社的なDX推進まで、様々な活用例を検討しています。

【現場データ活用例：1 不具合の傾向把握や予防に】

SPIDERPLUSのオプション機能「指摘管理機能」は、施工の不良箇所を図面データ上に画像やコメントと紐づけて是正指示を出し、対応の進捗までを可視化するものです。指摘管理機能を活用して入力されたデータを統計化し、不具合の傾向把握や、再発予防策をChatGPTの情報処理によって効率的に示し、directで展開していきます。

【現場データ活用例：2 組織的なSPIDERPLUS活用推進に】

SPIDERPLUSの利用ログを分析し、より効果的なSPIDERPLUS活用の推進策をChatGPTが分析データを処理してdirectに展開していきます。

【現場データ活用例：3 次に取るべきアクションの提案とタスクの可視化】

SPIDERPLUSで蓄積されたデータから工程の実行時間や作業工程の依存関係を分析し、次に取るべき工程の最適な計画をdirectに展開し、現場に関わる全ての人に状況を可視化できます。またdirectのタスク機能を活用することで、プロジェクトのスムーズな進行が期待できます。

【現場データ活用例：4 directのトーク内容をSPIDERPLUS上にマッピング】

direct上のテキスト内容をChatGPTが処理し、SPIDERPLUSの図面データにアイコン表示などでマッピングすることで、コミュニケーション結果を直感的に把握することを可能にします。

※1：ChatGPTはOpenAI 社が開発し提供する生成・対話型 AI サービスです。

※2：当社は OpenAI 社と API での利用契約を締結しているため、ユーザー企業の利用者が入力するプロンプトのデータは OpenAI 社のAPIデータ使用ポリシーに基づき、AI の学習用データとして利用されることはありません（OpenAI 社は管理のためデータを 30 日間保有します）。

3. 建設業の課題解決に向けて

L is B社では、「アイデアとテクノロジーで人々を笑顔にする！」をミッションに掲げており、directとSPIDERPLUSは共通の顧客を擁します。建設現場に根付いたサービスを提供する両社だからこそ可能となる顧客の業務課題の解決を実現してまいります。

新しいテクノロジーを積極的に活用することにより、当社がミッションとして掲げる「働くにもっと楽しいを創造する」を実現すべく、建設業の課題解決に対し、さらなる貢献を目指してまいります。

【現場のビジネスチャット「direct／ダイレクト」について】

お客さまの声とともに進化を続ける日本で開発しているビジネスチャット「direct」は、文字のやりとりだけでなく、現場で撮った写真や図面ファイルを使った情報共有、緊急時の連絡手段として、現場で働くフィールドワーカーの方々に広くご活用いただいています。導入企業は4,000社を超え、建設やインフラ、設備、流通、小売、金融、不動産などさまざまな業界の現場で広がっています。

現在は、ビジネスチャットの機能に加えて、タスク／スケジュール／掲示板／日程調整など、業務アプリ「direct Apps」と連携することで【現場の業務ソリューション】へ進化しています。

【建設業界におけるdirectの主な導入先】

大林組、竹中工務店、前田建設工業、西松建設、鴻池組、東急建設、九電工他多数

「direct」サービスサイト：<https://direct4b.com/ja/>

【株式会社L is B（エルイズビー）について】

現場の業務改善やデジタル化を支援する企業として2010年に創業。お客さまの課題に真摯に向き合い、業務改革と課題解決の実現に注力し多彩なソリューションを開発、販売しています。新しいことに常にチャレンジし続け、人々を笑顔にしていく企業であり続けていきたいと思えます。

URL：<https://l-is-b.com/ja/>

【SPIDERPLUSについて】

現場作業従事経験にもとづく、ふとした疑問から開発され、2011年9月より提供を開始。図面データ上にタブレットで撮影した画像やメモを紐付けし、クラウドで共有することにより、情報共有を効率的に行なうほか、検査実施に特化した専門機能などを組み合わせることにより、現場作業の省人化や省時間化、人為的ミスの削減による生産性の向上を実現します。2023年3月末時点で全国約1,600社、60,000人以上によって導入されています。

【本件に関するお問合せ】

スパイダープラス株式会社 経営企画室IR担当

メール問い合わせ先：ir@spiderplus.co.jp 電話問い合わせ先：03-6709-2834

以上